



# 福祉施設対策委員会 ニュース

No2013-06  
2014年  
3月10日

インフルエンザ大流行!  
少ない人員の中で何とか乗り切る。



松本赤十字乳児院

2月後半からインフルエンザAが、乳児院で大流行しています。  
今日現在、入所児は15人、職員は7人がかかり大変な日々が続いています。  
いまだかつてこんなに大勢が感染したことはありません。  
おかげで、楽しみにしていた「ひな祭り」や「誕生会」などの行事は中止。  
毎日最低人数の職員でなんとかつなげた3週間あまり・・・。

こんな時はボランティアも頼めず・・・。

救いは症状が長引かず、どの児もだいたい1～2日で熱がさがり、食欲も戻り  
4日目には元気になってくれたことです。

## 組合員拡大を最大の課題に!



3月いっぱい、2人の職員が退職します。

1人は正職の看護師、1人は嘱託の保育士、2人とも組合員です。

ここ数年嘱託職員の組合加入は増加していますが、反対に正規職員の組合離れが進んでいます。

原因はなんなのか? 辞める理由を聞くと・・・

- 組合費が高い⇒必要額から算出して金額をさげました。
- 負担が大きい⇒確かに小さな組合だから、すぐ役員が回ってきます。
- 組合って必要なの?⇒今の職場環境は先輩達の頑張りを受け継いで、勝ち取ってきたものも多いはず。
- 組合って入るのも辞めるのも自由でしょ!⇒確かにそうですが。無くなったら困りませんか?

組織拡大が、いま最大の課題です!

この春1人でも増えてもらえるよう地道に頑張ります。

## ●次回の全日赤福祉対策委員会は

2014年5月25日午前9:00～12:00 東京・入谷日本医療労働会館(間に合わない場合前泊)

引き続き以下の参加をお願いします。

5月25日午後13:30～上記同じ場所にて医労連福祉部会学習会

5月26日午前10:00～厚労省交渉、午後2:00～施設見学(日赤医療センター乳児院※予定)